

## 教育振興基本計画の達成度の評価

				H26年度	H30年度 目標	H30年度 結果	評価	評価結果
一貫性のある学びの育成	国語・算数・数学の授業の内容はよく分かると回答した児童生徒の割合	小学生	国語	78	80	84	達成	各校の学力向上担当者による連絡協議会を開き、先進校の取組みの共有を進めたことが成果につながった。言語活動を中心に研究を進めた学校が多く、国語の成果が目立っている。さらに数学の授業づくりの取組みをすすめる。
			算数	74	75	83	達成	
		中学生	国語	63	65	70	達成	
			数学	69	70	68	未達成	
	計画を立てて勉強をしている児童生徒の割合	小学生	51	56	61	達成	小学校では自主学習コンクールを開催するなど、校内の取組みが進んでいる。これらの取組みを中学校での活動につなげる。	
		中学生	47	52	48	未達成		
	読書が好きな児童生徒の割合	小学生	68	75	69	未達成	特定の本に人気集中し、読書の幅が広がっていないため、図書室の活用や幅広い読書の楽しみ方の提案が必要。読書習慣を定着させるため、魅力的な学校図書館づくりをすすめ、幅広いジャンルの本と出合う場を設ける。	
		中学生	58	65	60	未達成		
	友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意とする児童生徒の割合	小学生	49	55	64	達成	小学校では発表の場を組み込んだ授業づくりが進んでいる。中学校でもペア学習、グループ学習の機会を増やし、ステップを積み重ねて発表への自信へとつなげる。	
		中学生	51	55	49	未達成		
豊かな心と健やかな身体の育成	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小学生	77	80	85	達成	各校の授業改善により、児童生徒が授業において考えを伝え合ったり、協働した学びが推進された。	
		中学生	62	65	68	達成		
	いじめはどんな理由があってもいけないと考える児童生徒の割合	小学生	95	96	97	達成	道徳の授業改善により、児童生徒がいじめについて考え、議論する活動が推進された。	
		中学生	72	79	94	達成		
	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小学生	87	90	87	未達成	学校での学習や生活において、目標を達成する経験が不足しており、キャリア教育の推進とともに、児童生徒のめざす姿の共有が必要。	
		中学生	72	75	72	未達成		
	朝食を毎日食べている児童生徒の割合	小学生	93	97	93	未達成	課題を抱える家庭や、児童生徒の生活リズムの乱れに対して、朝食の大切さについて啓蒙していく。	
		中学生	87	92	90	未達成		
子どもをばぐくむ学校力・教師力の向上	学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる割合	小学生	88	93	100	達成	各校における各種研修等を通して、教職員の中で課題を共有するとともに方策について検討を行っていく仕組みづくりが整ってきたものと思われる。	
		中学生	100	100	100	達成		
	学校ホームページのアクセス回数	小学生	72,802	80,000	125,408	達成	学校ホームページをリニューアルしたことにより、学校からの発信力が向上したことを受け、保護者をはじめとする閲覧者数が増加したことによると思われる。中学校については、HPリニューアルによるスタート時期(4月)のアクセス不可期間があったことも関係していると思われるが、各校における発信力の向上に努める。	
		中学生	94,282	100,000	71,665	未達成		
	授業では自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う児童生徒の割合	小学生	81	85	88	達成	新学習指導要領改訂に向けた取組みの中で、自分の考えを発表する場面を意識的に設ける教員が増加したことで、児童生徒の受け止め方にも変化が見られるようになった。	
		中学生	69	75	83	達成		
	授業では、児童生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思う児童生徒の割合	小学生	81	85	85	達成	新学習指導要領改訂に向けた取組みの中で、児童生徒の間で話し合う活動の機会が増加したためと考えられるが、達成したとはいえ中学校は小学校に比べると改善の余地は <b>が</b> ある。	
		中学生	58	65	71	達成		

## 教育振興基本計画の達成度の評価

			H26年度	H30年度 目標	H30年度 結果	評価	評価結果
地域の豊かな学びの育成	市主催の講座受講者数	市主催の講座受講者数	25,304	27,900	19,250	未達成	台風第21号の被害により、一部施設においては、復旧まで休館を余儀なくされたことが未達成の原因のひとつであると考えられる。今後も、大学連携や民間企業を活用した魅力あるソフト事業の展開を図るとともに、市民の学ぶ意欲を育み、学びあう人間関係を育てながら、知の循環を活かしたまちづくりを行うため、学びの機会創出に努める。成果指標の内容について、複数課にまたがることから、次回の見直し時には成果指標の見直しが必要と思われる。
	池上曽根弥生学習館・織編館の入館者数	池上曽根弥生学習館	13,413	14,100	10,537	未達成	池上曽根弥生学習館については、台風第21号の被害により、復旧まで休館を余儀なくされたことが未達成の大きな原因と考えられる。また、織編館は、平成26年に移転し、常設展示室の面積が狭くなったことによる展示の制約から、リピーターの獲得ができなかった。市の歴史遺産を後世に伝えることは行政の責務であることから、今後、常設展示物の見直しや、企画展を充実することで館の魅力アップにより効果的な事業展開を図る。
		織編館	9,010	9,500	7,110	未達成	
	文化・芸術・スポーツのイベント参加者数	文化・芸術・スポーツのイベント参加者数	10,514	11,000	8,636	未達成	参加者数を成果指標とした定量的な視点とイベントの質に対する定性的な視点も成果指標に必要であると思われる。市民の健康づくりの観点から、スポーツ習慣化に向け民間のノウハウや大学の専門的な知見を活用するなど、効果的で効率的な運営を行うことで、習慣化を推進できると考えられる。文化芸術についても、若い世代や無関心層に向けた参加しやすいシステムを構築するなど、市民が広く文化芸術に触れる機会を創出する。成果指標の内容について、複数課にまたがることから、次回の見直し時には成果指標の見直しが必要と思われる。
	今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小学生	53	58	55	未達成	家庭が忙しい中で、地域とのつながりも希薄になっていることもあり、児童生徒が参加する意識が少なくなっていると考えられる。学校でも、総合的な学習の時間や社会科等で、地域のことについて学ぶ機会を通して児童生徒の意識醸成を図っていく必要もある。
中学生		31	37	28	未達成		
安全・安心な学びの充実	小中学校体育館非構造部材の改修率	小中学校体育館非構造部材の改修率	55	100	100	達成	計画的な改修計画から、H27年度に小津・東陽・誠風中学校の改修が完成した。今後も、適切な予算計画により継続した維持管理を行っていく。
	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童生徒の割合	小学生	53	58	55	未達成	スマートフォン等の普及により、読みたいニュースだけを読む習慣が家庭にも広がっているとも考えられるが、総合的な学習の時間や社会科などと教科横断的な学習などを通して、地域や社会のことに関心をもつ意識の醸成が不十分だったことも要因と考えている。今後、コミュニティ・スクールなどをはじめ、地域と協働しておこなう取り組みも増やしながらか、児童生徒の意識醸成に努める。
		中学生	47	55	51	未達成	
	教育支援センターの教育相談件数	教育支援センターの教育相談件数	600	640	448	未達成	市HPへの掲載をはじめとして、児童生徒の保護者に対してもプリント等での周知を継続して行うなど、教育支援センターでの教育相談の周知が徹底できていない市民への周知を行う。
	訪問型家庭教育支援サポーターの訪問回数・児童生徒数	訪問回数	558	570	382	未達成	訪問回数の増加はもちろんだが、一つひとつの家庭の状況を勘案した上で訪問ペースを精査したことが影響していると考えられる。今後も必要な家庭に必要な支援を届けられる取り組みの拡充を図っていく。また、小学校配置型支援をH29年より開始したことで家庭訪問を行う家庭だけでなく、教員と情報共有等を行って見守っていく家庭数も増加しており、R1年度からは増福祉部局との連携をさらに強化して、拡充を図っている。
児童生徒数		29	31	52	達成		